

「運営協力金拠出」のお願い

昨年は多大なご支援をいただき役員一同深く感謝申し上げます。払込票の通信欄には短いメッセージが添えられている方もあり、たくさんの方の励みと応援が寄せられています。今年も多数の皆さまからの一層のご協力をお願い申し上げます。

石川県立七尾高等学校同窓会

〒920-0033 石川県七尾市南町1-3-406
電話 一部様 1-3-406

〒920-0033 石川県七尾市南町1-3-406
電話 一部様 1-3-406

00710104 39019

00710104 39019

「七高新聞」を探しています

— お宅に眠っていませんか? —

昭和23年6月創刊の「七高新聞」は、平成20年3月で、182号を迎えました。「七高新聞」には、約60年にわたる七尾高校の歴史が綴られています。来る平成21年の創立110周年記念事業として、「七高新聞」の縮刷版の刊行も計画されています。

ところが、創刊号、2号、4号は保管されていますが、3号、5号以降、七尾高校に残っていないものもあります。(別表を参考してください)

そこで、同窓会では、七尾高校の歴史の証人とも言える、「七高新聞」のバックナンバーを探しています。同窓生の皆さまのご協力が頼ります。お宅に、高校時代の資料が眠っていませんか? もし、「七高新聞」や校内刊行物が眠っていましたら、同窓会事務局までご一報下されは幸いです。

昭和20年代、30年代に七高生だった方、本校の職員だった方、そういう方を身内にお持ちの方、ご協力をお願いします。



別表 残存していない七高新聞一覧

第3号	昭和23年	第38号	昭和30年頃
第5号	昭和23年頃	第39号	昭和30年頃
第6号	昭和23年頃	第40号	昭和31年頃
第7号	昭和24年頃	第41号	昭和31年頃
第8号	昭和24年頃	第42号	昭和31年頃
第9号	昭和24年頃	第43号	昭和31年頃
第11号	昭和25年頃	第44号	昭和32年頃
第12号	昭和25年頃	第45号	昭和32年頃
第13号	昭和25年頃	第46号	昭和32年頃
第15号	昭和25年頃	第47号	昭和32年頃
第16号	昭和25年頃	第48号	昭和32年頃
第17号	昭和26年頃	第56号	昭和33年頃
第19号	昭和26年頃	第57号	昭和34年頃
第22号	昭和27年頃	第59号	昭和36年頃
第31号	昭和28年頃	第61号	昭和36年頃
第32号	昭和28年頃	第62号	昭和37年頃
第34号	昭和29年頃	第67号	昭和38年頃
第35号	昭和29年頃	第76号	昭和41年頃
第36号	昭和29年頃	第80号	昭和47年頃
第37号	昭和30年頃		

発行年は一部推定です

編集後記

- ▶ 同じ時期の高橋正徳君から編集長を引き受けました。早稲いがいきなりの編集長、何も無いが、口だけ達者に動かし、スタッフにご迷惑をおかけしましたが、ようやく発行出来るようになりました。スタッフの入れ替わりで事務局は大変だったと思いますが、ご苦労様です。紙面内容について、感謝の意は事務局へご一報下さい。 編集長 大岩 為一(寛1)
- ▶ 事務局大儲異動となりましたが、会員の皆様にご迷惑をお掛けしないよう頑張っています。 飯田 泰香(寛3)
- ▶ この4月から七尾高校本部同窓会事務局でお仕事をさせて頂くことになりました。母校のお役に立てることを心より願っています。 赤地真田子(寛4)

七高同窓会だより

第29号



平成20年度 本部同窓会のご案内

日時 9月21日(日)
総会 11時より 懇親会 12時より

場所 和倉温泉「あえの風」
☎0767-62-3333

新校舎完成記念式典

日時 10月5日(日) 午前10時より
場所 本校第一体育館

■ 目次

- ご挨拶……………2
- 支部活動状況……………4
- 本部活動状況……………9
- 記念事業実行委員長を拜命して……………10
- 特集 インタビュー……………11
- 同窓生の驚れ……………14
- 期別同窓会情報……………15
- 母校は多……………18
- お知らせ……………20



ご 挨拶

同窓の皆様には、その後もご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。

さて、私こと、昨年9月24日に開催されました本部同窓会総会に於きまして、皆様方からのご推挙により、再度会長を務めることになりました。前期同様、ご指導ご鞭撻とご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

今期、私の目標は申すまでもなく、七尾高校同窓会と母校の更なる充実、発展であります。その為の方策として、昨年、同窓会事務局(隔日勤務)を立ち上げました。従来から同窓会の事務は校内幹事の先生方をお願いしてきましたので、これ以上の負担を掛ける訳にもいかず、同窓会活動の更なる拡充を図ることは物理的に困難な状況でありました。しかし、昨年からは校内幹事の先生方には本務である生徒指導にも力を割いて頂き、日常的な業務は同窓会事務局が担当しています。

まず、事務局は同窓会だよりの毎年発行に向けて、編集委員会の業務の大部分を担っています。また、同窓生の交流を盛んにし、同窓会の活性化を図るための「名刺交換帳」を作成することが出来ました。これにより運営協力金の確保にも繋がりました。

次に、従来は業者任せであった同窓会名簿を目前

同窓会長 佐原 吉博

で管理、発行することが可能になりました。さらに、能登地区の各市町に同窓会支部結成と活動を支援することも可能になり、その第一号として、2月25日、中能登町に同窓会支部設立に向けて準備会が開かれ、4月13日(日)に設立総会が開かれることになりました。

私は本部同窓会は能登地区の各支部の連合体であるべきと考えていましたので、3月1日に開催された理事評議員拡大会議で七尾支部の結成を承認頂き、休眠中の志賀支部、穴水支部の再構築に向けて動きかけを開始致しました。同窓会の充実、発展に繋がればと思っています。

さて、昨年未だに母校校舎と体育館が完成し、それに伴う環境整備も順調で、本年10月には完成記念式典が行われます。また、来年9月には、母校の110周年記念式典が予定されておりまして、それに向けて実行委員会が結成され、準備活動を開始しております。素晴らしい110周年を迎えられますよう期待しています。

最後になりましたが、母校の更なる発展と同窓の皆様方のご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。



ご 挨拶

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本年四月に校長として着任致し、同窓会の皆様から来年の110周年行事に向けて着々と準備を進めていることをお聞きし、改めて本校の伝統の厚み、重みを実感しているところであります。

お陰様で、平成15年以來の校舎改築工事も昨年11月、第一体育館完成を以て完了し、今年10月には完成記念式典を催す運びとなりました。この間、皆様には周辺整備、学習環境の充実等において多大なご尽力を頂きました。誠に有り難うございました。

この改築となった新校舎で、後輩生徒諸君は、日々勉学、部活動に励んでおります。SSH事業で成長した生徒が、全国化学グランプリで大賞を受賞し、男子バスケットボール部が久しぶりに県で優勝致しました。また、県高校総体では総合得点において上位にランクされるなど、先輩諸氏の志をしっかりと受け継ぎ文武両道を実践しております。

さて、石川県の教育界においては、いよいよ高校再編が進んでまいりました。特にこの動きの中心は能登の地域であり、本校だけが悠然と構えているというわけにはまいりません。

七尾高校千載不易の伝統を受け継ぎ、一方では、

校 長 八十田 至

広い視野に立つた新しい感覚も磨いていかなければならないと考えております。

SSH事業では、新たに国際的に活躍できる人材の育成を視野にシンガポール研修を取り入れ、また、全人教育、社会人基礎力の育成の為、同窓会・PTAの皆様によるキャリア教育講演会を実施いたしました。更に、学校力、組織的教育力の更なる向上の為、その基礎である教師一人ひとりの教科指導力を高めようと、これまでの授業研究や教科指導研究会に加えて新たに互見授業(教師が教科の枠を超えて互いの授業を参観し研修する。)を行いました。

しかし、過疎化が進む能登の地にあつて、七高の果たすべき使命は有為な人材の育成だけであつてはなりません。七高が輩出する人材によつて能登が活性化してこそ七高がこの地にあることの存在意義があるのであり、また、地域の皆様への恩返しにもなると考えております。

本校職員は、生徒の目線に立つて労を惜しまず、能登の生徒を能登の地で大切に育てていこうと日々努力を続けております。

今後とも、会員の皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

支部同窓会活動状況

関東支部



関東同窓会
会長
石橋徳之助
(高3)

皇居のお瀆り端で盛会に

昨年(2008年)の6月16日(土)皇居前の東京會館に於いて、第42回関東同窓会

総会・懇親会を開催致しました。

関東一円から180名の会員が集まりました。特に今回は例年にも増して、学生・新卒者が50名近く参加し、会を盛り上げてくれました。嬉しいことでした。

本部から佐原吉博同窓会長・由紀子御夫妻、大橋寛・津田文雄副会長、学校からは谷口祐弘校長、生美正・向宏



口初男事務長また、関西・中部・金沢各支部からは、辻口信良会長・室木勝彌会長・谷口元章副会長のご出席を頂き、ご挨拶とお祝辞を賜りました。

旧恩師として宮田一男先生・南谷直彦先生・水野清正先生・黒坂昭弘先生をお招きし、懐しく在校時を回顧致しました。

役員改選、会計報告等議決の総会后、古稀の期(高8)代表による開宴の辞で、懇親会に入りました。期

別に配したテーブルでは、ご来賓・先輩・後輩・同郷出身者が集り「共通語」、「能登弁」が賑やかに飛び交っていました。

歓談中、昨年3月に発生した能登地震被災の一日も早い復興を願い、募金箱が会場を回り、多くの会員から心温まる善意が寄せられ、関東同窓会支部としての義援金と併せて

36万9千円余を当日ご出席の北國新聞社東京支社長に託しました。



恒例のお楽しみ抽選会では、豪華景品が多くのスポンサーから有り、30数名の当選・幸運者が続出と、大いに盛り上がりました。

宴たけなわの中、ファイナーレの校歌斉唱となり、女学校々歌・平常歌・七高校歌をそれぞれ高吟、遷厩を迎えた期(高18)を代表し、浜中安信氏の開会の辞で、盛会のうちに

お聞きとなりました。尚、今年(2008年)の同窓会は6月28日(土)午後12時30分より東京會館で開催



関西支部



関西同窓会
会長
辻口信良
(高18)

今年も春一番、関西同窓会

4月の第3土曜日は、関西同窓会です。今年(2008年)は4月19日、12時30分から、「シテイプラザ大阪」(この会場は初めてで、TEL06-6947-17888)にて開催します。

準備は、前年12月の幹事会から始まり、4~5回の会合を重ね本番になります。勘山悟幹事長を中心にした幹事会は、いつも15名以上が参加し大変にぎやかで活発です。本番の企

画の他、何十年も前の昔話に花が咲くことも多く、それはそれで楽しみです。関西同窓会への参加資格は、二府四県(大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山)在住者

ですが、規約上は「七尾高校と関連する人」で構いません。従って、例えば卒業生の配偶者や家族は勿論、在学中の転校者や、たまたまその日に関西に旅行に来られた人でも歓迎です。この数年、七尾高校合格直後に家族の都合で関西に引越し入学

を果たせなかった人も参加しています。

新人に対しては、高校卒業年及び二年目は、無料招待状を出し、先輩との顔なじみも試みています。新人で関西の住所が不明の場合、能登のご家族に案内状が届きますので、息子さん・娘さんへの転送等をよろしくお願いします。

さて関西同窓会本番は、約100名が参加して3時間以



上、賑やかに行われます。その他、OBには珍しい現役パイロット上林正一郎幹事のお世話で、毎年関西の有志が一泊旅行を行い、懇親の実をあげています。ご希望の方は連絡下さい。

ところで、母校が能登唯一のスーパーハイスクールに指定されているのは私たちも誇りで、文武両道の武の方での成果も聞いていますが、関西の悲願は、母校



七尾高校関東同窓会

会長 石橋徳之助 (高3)
〒125-0001 東京都葛飾区亀有3-11-5-801

顧問 谷口 守正 (高2)
三浦 孝明 (高3)

名誉会長 荒牧 久志 (中36)

副会長 中村 一夫 (中46)
三宅 伸秀 (高7)
木下 嘉平 (高15)

幹事長 小塚 正人 (高16)

副幹事長 西尾 和肇 (高18)
柳場 和久 (高18)
松本 美紀子 (高21)

会計幹事 半田 哲也 (高16)

監査 田中 敏雄 (高8)

幹事 受川 正 (高11)
津田 兵衛 (高3) 以下16名

事務局 北村 清年 (高21)
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-4-12
紀伊国屋ビル6階

(株)あおばランド
☎03-5777-3159
☎03-5777-3159
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-4-12

平成20年度関東同窓会

日時 6月28日(土)12時30分

場所 東京會館本館9階
ロースルーム迎賓の間
東京都千代田区丸の内3-2-1
☎03-3215-2111

※JR「東京駅」丸の内南口より徒歩10分
※東京メトロ有楽町線「有楽町駅」国際フォーラム側口より徒歩5分

★会費 19年度卒業生3千円
郷土名産など豪華景品が当たるコーナーあり!



も、大会が関西地区である場合は、事前に連絡いただければ、応援に駆けつけさせていただきます。

関西の地から、母校七尾高校の発展をお祈りしています。

七尾高校関西同窓会

会長 辻口 信良 (高18)
事務局 〒530-0047 大阪市北区豊満4-8-2
北ビル本館4階

本郷法律事務所
☎06-6336-1188
☎06-6336-1188
E-mail: 7708@bento-law.jp

幹事長 勘山 悟 (高9)
〒563-0025 大阪府池田市城前3-15-402
☎072-754-2306

幹事代行 根本 剛一郎 (高7)
〒583-0002 大阪府羽曳野市高麗6-4-22
☎0729-153-1396

平成20年度関西同窓会

日時 4月19日(土)12時30分

場所 シテイプラザ大阪
大阪府中央区本町橋2-31
☎06-6947-17888

※地下鉄堺筋線・中央線堺筋本町駅
1、12号出口より徒歩6分
※地下鉄谷町線・中央線谷町4丁目駅
4号出口より徒歩7分

★会費 1万円
但し、50期以降の卒業生は5千円
59期、60期の方々はご招待(無料)

金 沢 支 部



金沢地区合同同窓会
会 長 勇 寿
杉 本 (高3)

錦 秋 の 夕 べ 県 都 に 集 む

私ども金沢地区同窓会は、去る10月26日(金)、金沢ニューランドホテルで「七尾中学校・七尾高等女学校・七尾高等学校金沢地区合同同窓会」を開催いたしました。

今回の開催にあたりまして、警察本部に勤務する同窓生の方々にお世話をいただきました。この場をお借りいたしまして、感謝を申し上げます。

さて、同窓会当日は、冷たい雨の降るあいにくの空模様となりましたが、来賓として本部同窓会から佐原吉博会長を始め役員の方々、関東同窓会からは石橋



徳之助会長、関西地区同窓会の辻口信良会長、室木勝彌中京地区同窓会会長、学校からは谷口祐弘校長先生や事務局の先生方をお迎えし、またご多忙中にもかかわらず、山田省悟・盛本芳久両県議にもご出席をいただきますとともに、100名を超える会員の皆様のご参加をいただきました。

同じ学舎で青春時代を過ごした同窓生が一堂に会し、それぞれに学生時代に思いをはせ、昔話や近況に花を咲かせながら母校への熱い想いととともに、平常歌や校歌を声高らかに歌い、楽しいひとときを



過ぎ、盛会のうちに終了をいたしましたことを大変うれしく思っております。

今後ともこの金沢地区合同同窓会が錦秋の恒例行事として、また各界でご活躍される同窓生の皆様が久しぶりに顔を合わせ、旧交を温める場として、回を重ねていくことに意義深く、またより楽しい会となりますよう精一杯努めて参ります。会員の皆様のご協力をよろしく願いたします。

来年度も皆様とお会いできることを楽しみにしております。

中 京 支 部



中京同窓会
会 長 勝 彌
室 木 (高9)

19 年 度 中 京 同 窓 会 活 動 状 況

本同窓会は世話人会により本会の運営、活動等を協議、決定しているが今年度の総会懇親会は昨年11月10日(土)、メルパルク名古屋で参加者51名で開催された。

本部から佐原吉博同窓会長、由紀子ご夫妻、谷口祐弘学校長、生実正、向宏尚教頭、事務局釜谷美智子教諭、また関東、関西、金沢各支部から中村一夫副会長、辻口信良、杉本勇寿両会長にご臨席、ご挨拶をいただきました。さらに本部から木本陽子副会長、中川清栄、



広島孝子、守澤美紀子各会員にもご出席いただき、錦上花を添えていただきました。武元猛代表幹事副会長(高10回)の開会のことは



の後、物故者に黙祷を捧げ、室木勝彌会長(高9回)から旧七尾中、旧七尾高女、七尾高の校旗の紹介と挨拶、続いて佐原本部会長と谷口学校長から学校の現況や同窓会の活動についての報告をいただいた。

懇親会に入り、本会の最長老である秋田正夫氏(中29回)の発声で乾杯、初参加者の紹介、お互いの近況、同窓生の消息、故郷の思い出等楽しい歓談の合間に、今年も福森英一郎氏(中40回)の詩吟、女性コーラスに来賓の杉本金沢支部長の飛入り、カラオケ、郷土の特産品(みそまんじゅう、いがらもち等)の抽選会の後、校歌、平常歌を校歌作曲者の生長二郎氏(高2

回)の指揮のもと全員で斉唱、高澤新七(中31回)、静江(高女25回)ご夫妻による万歳三唱、倉田美智子副会長(高13回)の開会のことばで名残りを惜しみ来年の再会を約束しながら散会した。(万歳三唱をしていただいた高澤新七氏は、その後の12月に逝去され、突然のことに皆びつくりいたしました。ここに謹んで深く哀悼の意を表します。)

今年20年後の総会懇親会は、20年11月16日(日)、場所は昨年と同じメルパルク名古屋で開催いたします。是非皆さん大勢のご参加をお待ちいたしております。



七 尾 高 校 中 京 同 窓 会

会 長 室 木 勝 彌 (高9)
〒467-0046 名古屋市長瀬区弥富ヶ岡町3-23
ワイ・クオレ 406
☎052-833-6226
✉shimizu-shigeo@chubuplant.co.jp
副会長兼幹事長 武元 猛 (高10)
副会長 倉田美智子 (高13)
事務局 室木 勝彌 (高9)
〒467-0046 名古屋市長瀬区弥富ヶ岡町3-23
ワイ・クオレ 406

平 成 20 年 度 中 京 同 窓 会

日 時 11月16日(日) 12時〜
場 所 メルパルク名古屋
名古屋市長瀬区弥富ヶ岡町3-16
☎052-833-7335
是非皆さん大勢のご出席をお待ちいたしております。

七 尾 高 校 金 沢 地 区 合 同 同 窓 会

会 長 杉 本 勇 寿 (高3)
〒920-0042 金沢市小立野2-14-18
副 会 長 天 井 修 (高8)
谷 口 元 章 (高10)
北 野 信 之 (高15)
高 澤 基 (高17)
県庁事務局
企業局 不嶋 豊和 (高20)
総務課 山本 樹 (高27)
〒920-8800 金沢市桜月1-1
市役所事務局
環境指導課 永本洋一郎 (高20)
農業総務課 中山 潔 (高30)
☎076-220-2214
県警事務局
県警本部 中村 幸伸 (高22)
会計課 越村 和彦 (高35)
☎076-225-0110
事務局は輪番です。
(H20県庁、H21市役所、H22県警)
(平成20年4月発行)

平 成 20 年 度 金 沢 地 区 合 同 同 窓 会

平成20年度金沢同窓会は秋の開催となります。会員の皆様にはDMにてご連絡申し上げますので是非ご参加をお願いします。

本部同窓会活動状況

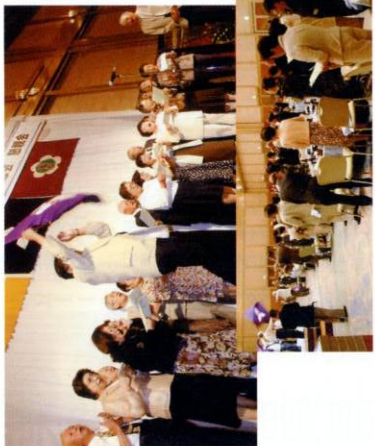
三百四名和倉に集う

平成19年度本部同窓会は9月24日(祝、和倉温泉「あえの風」にて開催された。前夜の雨で外気はすっきり秋めき爽やかな日和となった同日、能登一円から、また県内外から延べ304人の同窓生が集った。

今年は役員改選の年に当たり、総会は松木二郎氏(高6)議長、石垣龍子氏(高7)副議長のもとで議事が進行、平成18年度事業報告、同決算が滞りなく承認された。ここで役員定数等について会則の改訂を経て、新役員が承認された(役員欄参照)。

19年度事業案、予算案も拍手で可決。会場からは卯辰山相撲大会出場の復活を望む等の意見が出された。

正午からいよいよ懇親会。進行は今年も鰻目剛氏(高30)が担当。盛本芳久氏(高25)の尺八伴奏のもと一回黙祷。再任成った佐原吉博会長(高7)は創立1



10周年(平成21年)に向けて若い世代を取り込み同窓会活動の裾野を広げたいと抱負を語った。谷口祐弘(高18)は全国大会に進出の運動部、文化部の活躍ぶり、またSSH事業のシンガポール国立大学付属高校との交流など国際規模の躍進を紹介した。

ここで第15代校長高澤幹夫先生のご発声で高らかに乾杯、各テーブルとも高らかに杯が交わされた。

その後も、しめやかに会は進行。先ず来賓として従二喜二先生、佐々木敬彦先生、佐々木弘明先生、高澤幹夫先生、西村孝之先生、三浦光雄

先生の歴代校長が先生正教頭から紹介された。また顧問堀昭七郎氏(高3)並びに関東同窓会三宅伸秀副会長(高7)、関西同窓会青野秀副会長(高19)、中京同窓会室木勝彌会長(高9)、金沢合同同窓会杉本勇寿会長(高3)各支部代表が木本陽子副会長(高9)から紹介さ

れた。

ここで校旗の贈呈が行われた。これは創立110周年に向けて益々の活動の発展を祈念したもので、中学校、女学校、そして高校の校章



を染め抜いた校旗3枚と応援旗3枚を一式として各支部に贈呈された。各支部代表は挨拶の中で、新調の旗の贈り物を喜んだ。また杉本勇寿金沢地区合同同窓会会長は挨拶の中で能登半島地震から半年を経ての復興の進展と一層の奮起を呼びかけた。

続いて昨年秋から今年春の叙勲者、今期の県議当選者が紹介され、瓦力衆議院議員(高8)からの祝電が披露された。

場内はいよいよ賑々しく熱気が満ち、同輩や先輩、後輩との一年ぶりの再会を喜ぶ談笑が続いた。裏も絶頂となり恒例の校歌メドレー。先ず中学部会を中心に平常歌斉唱。1、2、5題を力強く歌った。女学校部会は岸あやこ先生(女22)のリード



で姿勢もよろしく斉唱。最後は全員で校歌を大合唱した。今年は往年の応援団有志が続々登壇し力強く旗を振り、校歌はいずれもア・カベラで高らかに歌い上げられた。

ここで今期退任の役員三氏に花束が贈られた。また大林重治110周年実行委員長(高13)が高澤良英(高17)山口成俊(高26)両副実行委員長とともに登壇し、挨拶。来る事業は未来志向で臨み、同窓会活動の活発化は地元の活性に直結するとの期待を述べた。

来年は9月21日(日)和倉温泉「あえの風」での開催が決まっております。一回再会を約しておひらきとなりました。



中能登支部



中能登地区合同同窓会
会長 武司 今井 (高13)

中能登同窓会設立なる

昨秋から準備が進められてきた中能登同窓会が、この程立ち上がり、去る4月13日(日)設立総会が開催された。

当日は80余名の会員が参集し、本部からも佐原会長、八十田学校長をはじめ、多数の来賓を迎え盛大に行われた。

中能登町を代表し、杉本町長から祝辞も賜った。

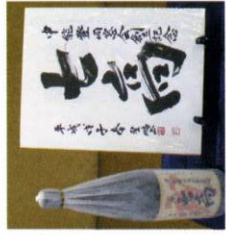
総会の後、懇親会に移り、和やかな歓談の中、校歌と平常歌の斉唱で最高潮に達し、万歳三唱で締めくくられた。



創立記念に校章入り『七高』の焼酎

懇親会会場には、中能登同窓会創立記念として作られた『七高』の焼酎が振舞われた。『七高』の揮毫は、日展作家清水聖鵬氏(高9回)によるもの。

なお、記念の焼酎は、出席者の土産として大変好評を得たことはいままでもない。



七尾高校中能登同窓会

- 会長 今井 武司 (高13)
- 〒929 685 中能登町高島小5-1-1
- ☎07677771215
- 副会長 戸部 信六 (高9)
- 副会長 新屋 春雄 (高14)
- 副会長 笹川とみ子 (高14)
- 代表幹事 廣田 隆弘 (高8)
- 会計監査 藤本 昌平 (高6)
- 会計監査 池田 信明 (高4)
- 会計(事務局) 島田 博文 (高16)
- 〒929 721 鹿島郡中能登町井田9の14
- ☎07677761471

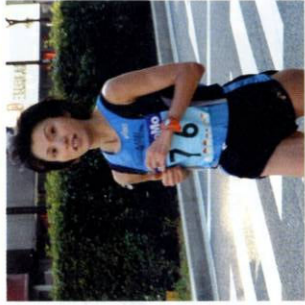
インタビュー

田中 光さん (高41)

市民ランナーとして活躍する田中光さん。走る事にまつわる全てのことを楽しんでいる。そんな雰囲気が出ています。

2004年 かすみから55マラソン優勝 (2時間51分49秒)
2007年 東京マラソン3位 (2時間49分13秒)
自己ベスト: 2005年 大阪国際女子マラソン (2時間46分21秒)

語り手: 光 (田中 光さん) 聞き手: 千 (松浦千重)



千: 現在はどのようなお仕事をされているのですか?
光: 現在は旭化成ホームズの技術部(新しい商品を開発し、全ての部材と仕様を決定する部署)
そこで全部材に関してのシステム運用業務と、設備部材に関しての部材決定を行っています。
千: 忙しい仕事の合間を縫ってのマラソンの練習になるかと思いますが、どれくらい練習しているのですか?
光: マラソン練習は基本的には週に6日で退社後、夜できない場合は、早朝にします。毎週水曜日は、リスタートニングクラブでコースを走っています。あとは月に1度、社内初の初心者を対象にした「ゆつくり走ろう会」(2006年4月に発足)で教えます。
千: 大会にはどれくらい出場しているんですか?
光: 大会は、フルマラソンは年に2〜3回、駅伝は4〜5回、その他ハーフなどは2〜3回くらいです。貧乏なのであんまり大会に出ないようになっているんですよ。(参加費や遠征費など結構かかるから)
千: 目標はありますか?
光: フルマラソンで2時間45分をきることです。
千: 高校時代は何になりましたか?
光: 高校時代はなんも考えていなかったかな。目の前のことだけしか考えられなかったですね。行きたい大学もないし、なりたいたいものもなく、ぼーっとしていた気がします。なりたいたいわけではなかったけど、30歳で子供が3人いる、ふつうの奥さんで母親になると凄然と思っていたかな。
千: 高校時代の思い出、印象に残っている事などありますか?
光: 高校3年間はとても過酷でした。恋愛と洋服と遊ばせとしか頭になかった気がします。自分のことしか考えてなくて、家族や兄弟のことを全く考えやれず、友人も傷つけたりして、今思うと幼かったなと思います。でも、良い先生や友人に出会えて本当に濃い毎日

千: 一度、学校生活をやり直せるなら高校時代を選ぶ！そのくらい濃かったです。
あと、...1年のうち1/3は朝の汽車に乗り遅れて、父親に車で送ってもらっていた記憶。あ、さらに、3年生の夏は補習をさぼって毎日みよひでカキ氷を食べ、図書室でぼんやりし、下敷きをウチワ代わりに使ったり、駅前の通りの洋服屋をひやかしていたかも。
千: 練習もあまりまじめにしなかったし三流選手だったけど、陸上部の仲間達は好きだったですね。皆で当時のキャプテンの家(七尾駅近く)に遊びに行ったり、はしゃいだりしている時間が楽しかったことを覚えています。
千: 非道に聞いていること、競技の選手だったのですが、冬に駅伝に出させられて(たぶん知らず)きつくてつらくて二度とこんなことはやらないと思った。ところが、今は「駅伝女」といわれるくらい、機をもらって人格が変わったように熱い走りをするらしいので、人は変われば変わるものだ...
千: 練習もあまりまじめにしなかったし三流選手だったけど、陸上部の仲間達は好きだったですね。皆で当時のキャプテンの家(七尾駅近く)に遊びに行ったり、はしゃいだりしている時間が楽しかったことを覚えています。
千: 非道に聞いていること、競技の選手だったのですが、冬に駅伝に出させられて(たぶん知らず)きつくてつらくて二度とこんなことはやらないと思った。ところが、今は「駅伝女」といわれるくらい、機をもらって人格が変わったように熱い走りをするらしいので、人は変われば変わるものだ...



千: では、マラソンを始めたのはいつ頃だったんですか?
光: 2002年の5月。弟とその上司と飲んでいて、酔った勢いでホノルルマラソンに行くことになってからです。
千: 酔った勢いでホノルルマラソンへ。本当に行ってしまおうところをぐさぐさですね。何か本切にしている言葉ってありますか?
光: 「神様は超えられる試練しか与えない」。初めてのハーフマラソンのレース(富山県)で、最初に飛ばしすぎたせいで途中で脱水症状と痙攣を起こして、まともに走れず非常に悔しい思いをしました。観戦や親もいたので、恥ずかしく悔しかった。その時に母親が「神様は超えられる試練しか与えない」というようなことを言ってくれたんです。その時「これは超えられるんだ」と思いました。
その後、マラソン以外の様々な場面で苦しいことや嫌なことがあっても、「これは超えられるはず」とか、「これは超えるべきなんだ」と思うようになっています。自分の人生で起こる全ての事に意味があるのだと思えるようになりました。
千: 素敵な言葉と素敵なお母様ですね。最後に、現役の高校生達にメッセージをお願いします。
光: 今の瞬間の感性を大切に。今感じてる嬉しい、悲しい、悔しい、感動、嫉妬、いろんな感情や心の動きは、今この時の自分だけが感じることで。
千: どうもありがとうございました。

取材後記
田中光さんは私が高校時代に教育実習生として七尾高校にやって来ました。とてもキレイな方で、男子達がキャーキャー言っていたのを覚えています。
田中さん、密かに地元の大会にも出場され、好成績を取っています。機会があれば是非治達に応援に出かけましょう!

記念事業実行委員長を拝命して

創立110周年記念事業 実行委員長 大林重治

我が母校は、来年創立110周年の大きな節目を迎えます。石川県第三尋常中学校として明治32年安楽寺を仮校舎として設立され、永年の学校関係者、諸先輩、諸氏の献身的なご努力の結果、私共同窓生としては大いに誇れる母校になりつつある事は誠に喜ばしい限りであります。また記念すべき節目を飾るよう、待望久しい新校舎がこの秋には竣工し、名実ともに能州大学たるに相応しい学び舎となります。改めて関係各位に感謝と敬意を表する次第であります。
このような中で迎える創立110周年の記念事業実行委員長を仰せつかりましたが、今更ながら事の重大さを思い知らされた次第であります。固より浅学非才ではありますが、副実行委員長の高澤良英氏(17回)と山口成俊氏(26回)をはじめ、壮々たる実行委員の皆様のご支援を仰ぎながら、職責を全うさせて頂く所存であります。どうぞ同窓諸兄の寛大なお心ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。
さてこれまで当実行委員会で協議し更に「120年委員会」を始

- 未来志向の事業展開 記念誌等での10年間の振り返りだけでなく10年後の七尾高校を描く未来志向型の事業
● 同窓会名簿の目前制作「名簿業者への全面委託」からの転換
● 同窓生相互間のネットワーク等の構築
● 全国同窓会記念懇親会の開催(平成21年9月20日(日)を予定)

等、様々な事項について検討に入

七尾高校創立110周年実行委員会 組織表

Table with columns for 同窓会 (Honorary Alumni Association), 120年委員会 (120th Anniversary Committee), 記念誌編集委員会 (Memorial Book Editorial Committee), and 広報・名簿委員会 (Publicity & Roll Committee). It lists various roles like 委員長 (Chairman), 副委員長 (Vice-Chairman), and 委員 (Members) with their names and graduation years.

めて5つの分科委員会で熱心に検討頂いておりますが、審議の過程で明らかになりつつある事項について触れてみたいと思います。
● 未来志向の事業展開 記念誌等での10年間の振り返りだけでなく10年後の七尾高校を描く未来志向型の事業
● 同窓会名簿の目前制作「名簿業者への全面委託」からの転換
● 同窓生相互間のネットワーク等の構築
● 全国同窓会記念懇親会の開催(平成21年9月20日(日)を予定)

第14回

七高同窓会美術会展 作品募集!!

本本 峰生 (高6)

会期 9月20日(土)〜23日(火)祝
会場 フォーラム七尾4F (七尾駅前)
主催 七尾高校同窓美術会
共催 七尾高校同窓会
後援 七尾市・七尾市教育委員会・北國新聞社・七尾市文化協会・ラジオかなお・テレビ金沢
募集部門 絵画・工芸・書・写真
出品料 4,000円

例年全国各地から七尾高校を卒業した美術愛好家たちが出品して行われる、七尾高校同窓美術会展は、今年も本部同窓会が行われる9月第3曜日から4日間行われます。

親友、同期生、同好者らお誘い合わせの上、多数のご出品を期待し、お待ちしております。

問い合わせ先

事務局 本本 峰生 (高6回卒)

☎・FAX (0767) 5214011

インタビュー3

多田真梨子さん (高54)

平成20年2月、「にすわい」で第15回三田文学新人賞。



昭和58年生まれ。中学生の頃から小説家を志す。高校時代は美術部・放送部・生徒会長などで忙しい日々。大学在学中、授業を通して「三田文学」編集長と知り合い、書いては書き直し、書いては書き直し...という日々を送る。

語り手: ま (多田真梨子さん) 聞き手: れ (谷内玲香)

インタビュー2

宮下 英樹さん (高47)

漫画家として活躍する宮下英樹さん。宮下さんが描く戦国武将はとて力強く美しい。



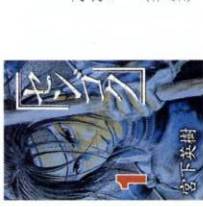
2001年、「週刊ヤングマガジン」(講談社)に掲載の「春の手紙」でデビュー。その後、地元石崎で盛んな相撲を題材にした「ヤマト猛る」(2002年~2003年)を経て、2004年より「センゴク」を連載。一部が2007年に完結し、現在は「センゴク天正記」を好評連載中です。

語り手: 宮 (宮下英樹さん) 聞き手: 千 (嵯浦千重)



千: 「センゴク」は、戦国時代のマイナー武将、仙石権兵衛兼久が主人公で、彼が生きた戦国時代と、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康等の戦国武将達を宮下さん独自の魅力的キヤラを創りあげて表現しています。歴史ファンとしても読み応えたっぷり。単行本も出ていますので、同窓生として是非一度読んでみて下さい。私はすっかりハマって、全巻読破です。

千: 台詞も宮下さんが考えているんですか?
宮: そうですね。脚本家がいるわけではないので、その辺も全部自分でやっています。それから、週刊連載なので、毎週ちよつとした見せ場を盛り込みます。ネタとか、面白いシーン、かっこいいシーン、泣けるシーンとか、現代と違う文化や習慣をいれたりする時もあります。



千: あら、そうでしたか。歴史は好きだったんですか?
宮: 特別好きというわけではなかったんですが、そういえば石崎小学校時代には剣道クラブつてのに入っていて、昔剣道だった場所に行ったりしましたね。その時は友達が入ったからなんとなく入ったのですが。あと、石崎の泰灯のキリゴに描かれていた時代絵巻とか好きでしたね。後はセンゴクゲームで遊んだり、大河ドラマにはまったり、「戦国武将スタック」のシールも集めていたかも。どれも決定的な理由ではないですが。

取材後記

10年以上ぶりにお会いしました。高校時代とあまり変わっていませんでした(いい意味で)。宮下さんのオフィスで、現在連載中のセンゴクの「原画」を見せてもらいました。一本一本の線が繊細で、迫力があり、鼻息もんだした。センゴクの脚本もこなし、芸術的な戦国武将も描く宮下さん。頭の中を割ってみてみたいです。取材だったのに、高校時代の昔話に花が咲いて、とても楽しい時間を過ごせました。同級生に会って、高校時代の話をすると、すっかり気分は学生服・セーラー服ですね。



千: では、当落選校時代は日本史専攻?
宮: 高校時代は世界史専攻でした。(笑)

千: 高校時代は部活してました?
宮: ポート部でした。2年の途中までですが。
千: ポート部は練習(筋トレ)がきつくて有名でしたもんね。なんでポート部に?
宮: 友達がやっていたんで。それに、単純にかっこ良かった。中学時代は柔道部だったのですが、個人競技は緊張して嫌だったのでも、団体競技がいいかな。でも、団体のほうが緊張しましたね。かなりきつい練習をやめてしまいました。
千: 高校時代にマンガ書いていなかったんですか?
宮: 一瞬書きたいと思ったけど、全然思いつかないので、やめました。書き始めたのは大学からです。高校の時から映画監督になりたいと思っていました。進路相談の時に当時の担任の先生に言ったら、ちゃんと現実を見てと言われました。じゃあ、現実的な事では医学部かなと言ったら、先生にそれは...と苦笑。

千: 今回おめでとうございます!同窓生がすごい賞を取ったという事で、「七高同窓会だより」の取材をお願いしました。色々お話を聞かせてください!
賞を取ったのは初めてですか?
ま: ありがとうございます。実は初めてではないんです。中学生の頃、長野まゆみさんの著書と出会ったことで、彼女みたいな小説家になりたいと思うようになって...高校1年生の時に賞をもらったことがありました。慶応義塾大学に進学すると「小説」文章の書き方を教えます...という授業があったので...その教授が「三田文学」の編集長だったんです。それまで「三田文学」の存在は知らなかったのですが、大げさな選読周作さんが、二代前の編集長だったということもそこで知りました。

祝 叙 勲

叙勲を心よりお祝い申し上げます
とともに今後益々のご活躍をご祈念
申し上げます。

瑞宝小綬章

横山 健吾氏(高7) 神奈川県
薛 進氏(中43) 金沢市

旭日双光章

奥山 隆男氏(高8) 七尾市

ご 寄 贈

同窓会より入学式や卒業式などの
式典において、式の壮麗さを一層増
す素晴らしい贈り物をご寄贈いただき
ました。

● 体育館付帯設備

- ・ ステージ幕
- ・ 式典用幔幕
- ・ パイプ椅子

平成19年度 七尾高等学校同窓会役員

- 顧問
神野 正一(中36)
圓山 義一(中38)
飯田 桂一(中40)
堀 昭七郎(高3)
- 会長
佐原 吉博(高7)
- 名誉会長
八十田 至(高20)
- 副会長
稲葉 健(中48)
奥 陽子(女34)
大橋 覚(高7)
木本 陽子(高9)
三井 優美子(高16)
津田 文雄(高20)
魚岸 志乃富(高23)
久保 聡(高27)
川端 充(高34)
- 監事
大林 重治(高13)
西村 由紀子(高14)
所司 久雄(高20)
- 理事
神野 正一(中36)
林 秀一(中39)
堂谷内 博(中40)
高橋 武雄(中41)
古川 正弘(中42)
- 顧問
鷹合 敏範(中43)
守友 宗次(中44)
堀 喬(中45)
堀川 清(中46)
後藤 由雄(中47)
稲葉 健(中48)
森本 静(女15)
水谷 歌(女17)
佐々波 清子(女19)
伊藤 和嘉(女20)
橋本 君子(女22)
田中 千代子(女24)
別所 美津子(女25)
星野 ヒサ(女27)
垣内 外美(女28)
佐田 味礼子(女29)
米谷 幸子(女30)
半浦 和恵(女31)
清水 敏子(女32)
宮西 香津子(女33)
木下 良枝(女34)
村守 絹子(高1)
木下 成一(高2)
大河 喜代栄(高2)
前川 卓夫(高3)
桜井 洋子(高3)
寺岡 順治(高4)
松井 節子(高4)
春成 泰(高5)
新城 久代(高5)
木本 峰生(高6)
飯田 悦子(高6)
- 大井 悦夫(高7)
久保 美津子(高7)
横山 文男(高8)
宮本 博子(高8)
高島 隆夫(高9)
末吉 和子(高9)
青木 泰範(高10)
宮田 也子(高10)
北野 麗嗣(高11)
元橋 範子(高11)
河原 利九(高12)
高田 久美子(高12)
中浜 耕平(高13)
小林 智恵子(高13)
濱 暉元(高14)
西村 由紀子(高14)
佐藤 幹夫(高15)
多田 万喜子(高15)
小林 信之(高16)
山岸 文子(高16)
大岩 為一(高17)
坂野 葉子(高17)
橋屋 愈(高18)
田辺 喜代(高18)
新田 博(高19)
伊川 車子(高19)
浜 昇一(高20)
東条 厚子(高20)
山田 謙悟(高21)
伊藤 厚子(高21)
小間 敏秀(高22)
大成 伸子(高22)
- 田治 吉彦(高23)
魚岸 志乃富(高23)
若林 高明(高24)
勝木 穂子(高24)
中川 秀平(高25)
熊谷 京子(高25)
山口 成俊(高26)
幾松 裕子(高26)
木村 晋(高27)
佐原 加津美(高27)
岡部 孝博(高28)
関軒 利江(高28)
仲島 映(高29)
清水 桂(高29)
清塚 宏一(高30)
法岡 敬人(高31)
滝川 直子(高31)
長田 浩信(高32)
竹 外 喜子(高32)
木下 義隆(高33)
道下 雅美(高33)
伊藤 正喜(高34)
池田 弘子(高34)
上谷 正人(高35)
山崎 香織(高35)
福山 秀幸(高36)
浦上 智美(高36)
窪 大雄(高37)
受川 直美(高37)
青木 信幸(高38)
沢井 有里(高38)
松崎 健(高39)
- 土倉 雅世(高39)
政浦 芳典(高40)
番匠 佳子(高40)
- 評議員
甲 政夫(中33)
永江 宣之(中34)
鶴家 良平(中37)
田中 一雄(中39)
坂井 博(中40)
永源 功(中41)
年代 重雄(中43)
高田 久昭(中44)
鶴浦 孝(中45)
坂本 順二(中46)
芝田 和子(女19)
岸 あや子(女22)
藤本 季子(女23)
堀 美恵子(女24)
真館 静代(女25)
今井 静子(女26)
春木 千代子(女27)
小山 満智子(女28)
久田 とみ子(女29)
原 春枝(女30)
松浦 禮(女31)
小川 節子(女32)
宮西 香津子(女33)
藤林 邦子(女34)
戸淵 秋郎(高1)
野村 幸治郎(高2)
久保 賢明(高3)
大場 悟(高4)
佐野 藤造(高5)
松木 一郎(高6)
石垣 龍子(高7)
橋本 敏(高8)
- 木本 陽子(高9)
平見 隆(高10)
姥浦 昭二(高11)
川口 洋之(高12)
堀岡 敏幸(高13)
上村 美(高14)
橋本 秀和(高15)
森野 栄一郎(高16)
原 新一(高17)
山本 益夫(高18)
向田 博一(高19)
津田 文雄(高20)
尾古 真一(高22)
田中 道夫(高23)
戸田 一明(高24)
多田 朗(高25)
坂井 正弘(高26)
西村 正悦(高27)
坂本 博史(高28)
久保 明義(高29)
鶴目 剛(高30)
宮下 修(高31)
大谷 じず香(高32)
松井 敏史(高33)
杉本 欣一(高34)
種谷 多聞(高36)
在澤 潤(高37)
古川 宏幸(高38)
巻 美智代(高39)
松田 直樹(高40)
- 学校事務局
飯田 泰春(高33)
島崎 康一(高36)
坂口 初男(高14)
赤地 真由子(高45)
- 平成20年4月現在

期別同窓会開催のご報告

【中43期】

平成20年3月5日(水)
和倉温泉「ホテル海望」 15名



恒例になった同期会

参加して喜寿を祝った。次回は傘寿での再会を約している。

同期の上り通字者が中心になって、同窓会本部の中能登支部が結成される様で、七尾高校の活性に努めている。

「19の会」関東の20年度幹事は、堂垣忠夫、田尾明子氏が引継ぎます。19年度は、女性10名、

男性11名の参加で二次会での懇談は大変盛り上がりつつあります。

そろそろ能登路で「お出で」「お返り」の祭りがやってくる。皆様お元気です。平成20年3月記



【女30期】

平成19年3月23日(金)
食祭市場 26名
和倉温泉「のと楽」 29名

傘寿の集い
石垣美知子(女30)

うらかな春の日に私たち七高女30回生会長(山本和子)は、3月23日食祭市場にて、「傘寿の集い」を圓山義

一先生をお招きして、医学講座をスライド入りで大変有意義な一時を過ごし、今は亡き友を偲び「千の風になつて」を声高らかに合唱しました。その後記念撮影をし、先生をお送りして、弥生会はのど楽(ここで3名加わり)同窓会を開催しました。タイムスリップして女学生になり、歌に踊りに寸劇と楽しく過ごしました。中には車椅子や杖をついての参加でしたが、翌日はまだ別れがたく時間のゆるす人は、二次会、三次会と夕方、又の再会を約し、三、三、五、五に別れました。が、翌25日日曜日、午前9時42分、今まで体験した事のない能登半島地震でした。一日ちがいで、大惨事に合わなくて、これも亡き友柄が天界で私たちを守つて下さったのでしょうか。ただただ有難く感謝でございます。



【高9期】

平成19年8月20日(月)〜21日(火)
和倉温泉「加賀屋」
県内外各地から 82名

高9回生からの報告
戸部 信六(高9)
卒業50年記念同窓会を開催。県内外

から82名の参加、一度も出席してなかったが50年記念ということで始めて参加、来てよかった。次回も必ず参加するという人もあった。

開催当日午前中には、恒例によるゴルフ大会を能登半島ゴルフで開催。女性の参加者もあり華やかに開かれ、宴会に先立ち桂樹男大会委員長から成績発表、優勝した近藤整弘君外各人へ各賞が手渡された。

同窓会開催実施計画後に、まさかの能登半島大地震が発生したが、特に支障なく無事に開催することができました。

60歳代最後の同窓会を、楽しく盛大に開催することができました。



【高13期】

平成19年10月18、19日
アイリス愛知
県内外各地から 42名

名古屋大会成功裏に終了
中浜 耕平(高13)

名古屋地区在住OB、OG6人(大西・佐藤・加賀・倉田・赤星・天井)の尽力により今般、東京大会に引き続き13回生の名古屋大会が開催され、恩

師・野崎秀雄(77歳)のご参加のもと、北は札幌から南は福岡まで42名の出席で成功裏に開催できましたこと全国の13回の同窓生にご報告申し上げます。七尾からはバスを仕立て、アイリス愛知は熱気に包まれ、2日目は名古屋城と熱田神宮参拝メニューで盛り上がりました。アイリスでは幹事の趣向で46年前の写真まで用意され青春の美男・美女の超愛おしいに驚いた様子でした。時間がたつうちに18歳の少年少女に戻っていました。

野崎先生の記憶力は抜群で、「〇〇君」、「〇〇さん」と「昔の名前」で呼んでいました。岸せんせい：残念ながら大正琴の発表会でご参加できませんでしたでしたが、全体写真をみて「残念だわ」と2年後に期待されておりました。さて、2年後はいよいよ七尾高校110周年が挙行の予定で、佐原会長のヤル気と実行委員長に13回同窓の大林重治君が決まりメイクアップしました。2年後は七尾大会でお会いしましょう。みんな元気になつて。理事。



【高17期】

平成19年11月17日
新宿 三井クラブ
県内外各地から 28名

関東同窓会開催のこと

三谷 史生(高17)
去る11月17日、新宿の三井クラブに於きまして17回生の関東同窓会が開かれました。当日は在関東の同期生の他、地元七尾から布清信君、原新一君、大阪から藤重良英君、金子幸子さんの出席を得て総勢28名での開催となりました。

今年8月に地元七尾で17回生の全体の本部同窓会が開催され、参加者の何人かは3ヶ月ぶりの再会でしたが、殆どは1年ぶり、中には卒業以来初めての参加者もいて、三宅広人君のボジョレーヌーボの乾杯の音頭で始まった会は一人ひとりの近況報告や高校時代の懐旧談に花を咲かせるうちに2時間半の一次会はあつという間に終了しました。



引き続きBig Echoでのカラオケと歓談の二次会。初めての試みでしたが、皆さんの歌の上手いこと(それに隠し芸も)。それぞれの人生観や世界観を映した歌を思い切り歌い、且つ話し、最後は全員で修学旅行時に流した舟木一夫の「高校三年生」の大合唱でお開きとし、「来年もまたこの季節に会いましょう」と約束して散会しました。

今年はどうしても都合がつかず出席を断念された方、来年は早めに案内状を差し上げますので是非ご出席をお願いします。

【高17期】

平成19年8月17日(金)
和倉温泉「のと楽」 48名

高17回生からの報告

大岩 為一(高17)
3月25日の能登半島地震に負けないように能登復興元年のスローガンのもと、前回から、代表幹事を引き受けて、盆の17日に開催しました。沢山の返事の中で、選歴を過ぎて暇があると思っていたら、如何せん皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんになつていまして、孫の世話、盆帰りの家族の世話で忙しくなつていました。見通しが甘かつたようでした。でもこんな中、50名が集まりまして、楽しく開催できました。引き受けたときから、赤いチャンチャ

ンコは着たくないことから、選歴の年をはずしました。七尾在住のメンバーで準備を整えました。

いつものとおり、コメント集を作成しました。暇に任せて、パソコンに打ち込み始めたら、なんと13頁下手になりました。総勢183名の簡単な文集になりました。いつでも作れますので、希望の方はお申し込み下さい。

一次会では、談笑に花が咲き、スナックの取り合いで終了。場所を変えての二次会、終わりは、やはり校歌、平常歌、おきまりの高校3年生の大合唱になりました。和気藹々の中、次回幹事には、川尻章夫君が立候補。満場一致で決定。次回もやはり故郷能登で開くことを確認しました。次回は65歳の再会を約束して散会しました。



【高44期】

平成20年1月2日(水)
和倉温泉「のと楽」
県内外各地から 約70名

高44回生からの報告

近藤 和也(高44)
本年1月2日に高44回卒業生の同窓会をのと楽にて開催しました。塩川先生、釜谷先生、高先生の3名の恩師のご参加と、70名を超える卒業生で大変な盛況となりました。やさしい顔、精悍な顔等、以前の面影を残しつつも今の立場を表すかのような顔つきに、それぞれの卒業しての15年の月日を感じながら、旧友との再会を喜びました。おかげで、幹事としていくつかのプログラムを予定していたのですが、あまりにもの盛り上がりにより、そのままほとんどのプログラムを実行しないまま会も終了となりました。(決して幹事が酔っ払って忘れていたわけではないのですが...)時間の経つと、同窓会の時間の経つ速さを惜しみつつ、次回の再開を誓い、打ち上げとなりました。



期別同窓会開催のご案内

【中43期】

日時 平成21年9月20日(来年)
場所 和倉温泉「ホテル海望」
連絡先 幹事 年代 重雄(中43)
☎(0767)5215717
創立110周年を記念して開催致します。

【高3期】

(本会)
期日 平成20年6月3日(火)
1泊2日
会場 和倉温泉「あえの風」西館
日程 受付開始 15時
記念写真 18時
開宴 18時30分
会費 21,000円
(二次会)
期日 同6月4日(水)
七尾高校新校舎見学会
10時~11時30分
昼食会 福井亭 12時~14時
会費 5,000円

3回生 喜寿同窓会

堀 昭七郎(高3)
拝啓 桜の便りも聞かれる此頃ですが、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。さて、今年3年毎開催の3回生同

窓会の開催年でありまして、過日地元在住有志が集い協議の結果、下記のとおり6月3日、4日の両日に亘り、和倉温泉あえの風を会場に七高3回生喜寿同窓会として開催することになりました。何かと多忙のことと存じますが、繰り合せご出席下さいますようお願い申し上げます。

なお、3回生全体同窓会を今回をもって打ち止めにしてはどの声も聞かれますので、格別のご配慮をいただきご出席下さいますようお願い申し上げます。 敬具

【高10期】

卒業50周年&古橋記念同窓会のお知らせ
日時 平成20年7月10日(木)
受付15時
場所 和倉温泉「のと楽」
7月11日(金) 母校見学(翌朝の9時出発)
連絡先 幹事 小林 栄
☎(0767)5212784

【高11期】

七尾高校高11回期別同窓会
開催日 平成20年6月12日(木)
受付開始 午後3時から
開宴時間 午後6時から
開催場所 熱海伊豆山温泉 水葉亭
熱海市伊豆山190-1
☎(0557)8117145

熱海駅からの送迎 午後2時から30分間隔であります
会費 男性20,000円
女性19,000円

尚、不明な点等については、左記世話人へお問い合わせください。

- 佐々木 洋 ☎0422874740
- 伊豆 典子(健登) ☎042256022577
- 澤田 謙弘 ☎033999715375
- 堅田 阿紀子(一穂) ☎033996279380
- 高井 宮郎 ☎0459922139966
- 藤井 律子(斤山) ☎033533074423
- 橋本 育子 ☎03331577457
- 上森 美代子(佳) ☎04743300950
- 南 信郎 ☎055988962245
- 高宮 彦 ☎045844193221

【高12期】

日時 平成20年5月25日(日)
懇親会午後6時より
場所 和倉温泉「のと楽」一泊
幹事 藤田 貞夫 川口 洋之
坂本 勉 河原 利充
高瀬 勝洋 中屋 志保子
佐原 由紀子 島山 敦子
寺田 静江 前田 安美

12回生卒業生同窓会のご案内

藤田 貞夫(高12)
さくら咲く季節となり、皆様には益々ご健勝の事、お慶び申し上げます。頭記同窓会を右記の通り開催致します。みんなで楽しい思い出話をしてほしいと思いますので、お問い合わせの上、ご出席下さいますようお願い致します。

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)推進室から

快挙!!

●**館農 悠紀君 (理数科3年生)**
全国高校化学グランプリ2007大賞
 一次選考(筆記)の合格者57名が8月18日・19日に東京工大岡山キャンパスで実験を中心とした2次選考に参加し、総合2位になり上位7人に贈られる大賞に選ばれた。

●**全国物理コンテスト物理チャレンジ2007銀賞**
 20歳未満の大学入学前の青少年対象の全国規模の物理コンテスト。参加者424名。最終選考会が8月2日・3日茨城県であり、県内唯一銀賞以上の30名に入賞した。

●**シンガポール海外研修**
 7月31日から4泊5日の日程で2年生理数科4名がシンガポールの国立大学附属高等学校(シンガポール唯一のSSH校)へ研修に行き、英語による数学研究発表を行いました。異文化交流は驚きも多かった貴重な経験ができました。参加した生徒たちは石川県立理数科3校の合同発表会や文化祭でその様子をプレゼンテーションしました。

●**SSH講演会 2月22日(金)本校体育館**
副題 「ホヤの金属縮の謎を追って - 宇宙から生命の誕生と進化、その過程で現れた「ホヤ」の一種が海水の100万倍の濃度で金属バナジウムを体内で濃縮している。その過程を解明し、さらにバナジウムがどの様な役割を果たしているのかを究明している。また、高校生時代から研究活動を行っている現在までの話で、生徒達に多くのことを語りかけて下さいました。

母校は今!!



VS 高崎商大付属(赤・七尾)



▲佐賀インターハイ会場にて

大学合格者数

(平成20年3月末現在、過去2年に最終のもの)

国立大学	20年	19年	18年
北海道大	2	2	1
東北大	1	1	1
茨城大	1	1	2
筑波大	1	1	4
埼玉大	2	2	1
東京学芸大	1	1	3
東京農工大	1	4	2
東京外大	1	2	3
横浜国立大	2	6	2
上越教育大	4	6	6
新潟大	26	18	24
富山大	48	45	48
金沢大	9	2	8
福井大	1	2	1
信州大	1	2	1
岐阜大	2	7	3
静岡大	2	7	3
名古屋大	1	1	1
名古屋工大	1	1	1
京都市大	1	5	2
大阪大	4	5	4
神戸大	2	2	5
広島大	10	12	15
その他	118	129	137
合計	330	378	374

公立大学	20年	19年	18年
高崎経済大	1	2	7
富山県立大	5	4	4
石川県立大	3	3	2
福井県立大	4	1	3
都留文科大学	1	3	5
静岡県立大	1	2	2
その他	12	9	7
合計	27	25	29

私立大学	20年	19年	18年
慶応大	5	4	1
上智大	5	2	4
中央大	4	7	5
東京理科大学	15	9	10
日本大	8	5	5
法政大	3	1	1
明教大	7	16	10
早稲田大	3	8	1
中京大	12	20	8
同志社大	6	9	8
立命館大	27	41	43
関西大	13	17	22
関西学院大	10	2	7
その他	212	238	249
合計	330	378	374

▲選抜中島大会優勝(3年ぶり5回目)

▲館農悠紀君 研究発表

P.T.A役員名簿

任期 平成19年5月10日〜平成20年5月8日

役職	氏名
会長	山口 成俊 (高26)
副会長(備)	坂本 博子
副会長(学)	圓山 寛人 (高22)
副会長(生)	下出 理恵子
副会長(備)	久保 勝康
副会長(学)	北原 ヒロミ
副会長(生)	田中 和彦 (高26)
監事(学)	北原 良彦 (高27)
監事(生)	西野 二郎 (高26)
監事(備)	佐原 博之 (高33)
監事(学)	杉木 勉
監事(生)	木下 敬夫
会計(事務)	木下 徳泰 (高36)
会計(P.T.A)	坂口 初男 (高19)
書記(P.T.A)	水野 清正 (高33)
書記(P.T.A)	中澤 賢 (高34)
総務(備)	大島 尚文 (高29)

水泳

☆第10回石川県高等学校選手権大会
 権水泳競技部
 女子 自由形 4位
 山知 4位
 200m 自由形 5位
 山知 5位
 ☆第10回石川県高等学校選手権大会
 権水泳競技部
 女子 自由形 6位
 山知 6位

外国語研究部

☆英語スピーチコンテスト
 ライオンズ賞 木下美(1年)

吹奏楽

☆石川県吹奏楽コンクール
 A編成の部 金賞
 ☆石川県マンドリンコンテスト
 打楽器4重奏 銀賞

合唱部

☆石川県合唱コンクール
 高等学校部門 A 銀賞
 ☆石川県高等学校マンドリンコンテスト
 優秀賞 稲葉(2年)

美術部

☆美術工芸部門 優秀賞
 加藤 彰子

写真部

☆写真部門 特別賞 山本愛

放送局

☆放送部門 優秀賞 西川 明
 ※N.H.S.放送コンテスト 上に出場
 優良賞 川端・井上
 ※N.H.S.放送コンテスト 上に出場
 入選 櫻井
 アナウンス部門 入選 坂本
 ☆芸術文化文芸賞 西川 明

昇論部

☆「私たちの主張」発表大会
 優良賞 高塚(2年)

郷土研究部

☆石川県郷土研究発表会
 優秀賞 大嶋・石野(2年)
 ☆全国総合文化祭鳥取大会
 社会科学部門 石川県代表として出場

かるた

☆平成19年度石川県高等学校かるた選手権大会
 I部(優勝者)
 関沢(1年)3位
 ※第10回全国総合文化祭出場
 ☆第10回石川県高等学校新案かるた大会
 有段者の部
 関沢(1年)2位
 菅島(1年)4位
 経路者の部
 山口(1年)2位

その他

☆「石川教育の日」の標語
 優秀賞 船元(2年)
 ☆平成19年度石川県高等学校新案かるた大会
 課外部門
 優良賞 関田(2年)
 優良賞 坂井(2年)
 自由部門 優良賞
 松木 佑樹(2年) 牧野(2年)
 ☆平成19年度石川県高等学校文化祭
 ☆文芸部 文芸作品コンテスト
 詩部門 優良賞 井筒 晴彦(2年)
 短歌部門 佳作 深田(1年)
 俳句部門 佳作 深田(1年)
 俳句部門 優良賞 橋本(2年)
 散文部門 優良賞 松木(2年)

平成一9年度 各部大会成績(20年2月現在)

☆野球部
 ☆新設部
 1 野球場北信越地区高等学校
 ☆第10回北信越地区高等学校選手権大会
 1 回戦 七尾0-13 寺井
 ☆第10回北信越地区高等学校選手権大会
 1 回戦 七尾0-6 北信大
 ☆第10回北信越地区高等学校選手権大会
 1 回戦 七尾3-14 津幡

☆陸上部
 ☆県総体
 男子 5000m 3位
 船木 0-0 W
 女子 100m 3位
 福島 m 3位
 200m 5位
 福島 m 5位
 4x100m R 5位
 北川 牧山・地崎・扇島

☆北信越新人大会
 0-0 W 3位
 やり投げ 5位
 榎木(2年)
 100m 2位
 榎木(2年)

☆剣道部
 ☆県総体
 団体戦 3回戦
 七尾2-12 羽咋(本校付)

☆柔道部
 ☆県総体
 団体戦 1回戦
 七尾1-3 佃野実

☆空手道部
 ☆県総体
 男子 団体形 決勝
 七尾1-1 北信大谷
 準優勝 ※北信越大会出場
 団体形 決勝
 七尾0-15 北信大谷
 準優勝 ※北信越大会出場
 個人形 山口 亜
 2年 4位 ※北信越大会出場
 女子 団体形 決勝
 七尾5-0 野々市明倫
 優勝 ※北信越大会出場
 団体形 決勝
 七尾5-0 金沢西
 優勝 ※インターハイ出場

☆バレーボール部
 ☆県総体
 男子 準々決勝
 七尾0-12 航空二
 ※ベスト8

☆卓球部
 ☆県総体
 男子 団体戦 準々決勝
 七尾0-3 遊学館
 ※ベスト8
 女子 団体戦 準々決勝
 七尾0-3 遊学館
 ※ベスト8
 個人ダブルス
 白石・坂井 ※ベスト8

☆サッカー部
 ☆県総体 2回戦
 七尾0-4 泉丘

☆ポロ部
 ☆県総体
 男子 団体形 準々決勝
 七尾A(吉田勝・原田・山岸・若崎・吉田建)
 優勝 ※インターハイ出場
 北信越大会 5位
 男子ダブルスカル
 2位 七尾吉(加納 吉川)
 ※北信越大会出場
 3位 七尾A(巻・土橋)
 女子 団体形 準々決勝
 2位 七尾(野野・吉田・半藤・石木・扇島)
 ※北信越大会出場

☆ソフトボール部
 ☆県総体
 男子 準々決勝
 七尾1-2 松本市立
 個人 栗津 濱高 ベスト16
 ☆北信越大会出場
 女子 団体 決勝
 七尾0-2 金沢東
 準優勝 ※北信越大会出場
 個人 谷口 瑞田 ベスト8
 ☆北信越大会出場 ベスト16

☆バドミントン部
 ☆県総体
 男子 団体 3回戦
 七尾0-3 水戸 ベスト16
 女子 団体 3回戦
 七尾2-1 金沢 ベスト16

☆バスケットボール部
 ☆県総体
 男子 準決勝
 七尾0-16 星城 健長
 代表決勝
 七尾0-84 金工 3位
 女子 3回戦
 七尾0-0 星城
 ☆新人選抜大会(新北)
 優勝大会予選
 七尾0-5 岩手立 金工
 ☆北信越新人大会
 男子 準決勝
 七尾0-1 北信大
 3位決定戦 北信大 1位
 七尾5-10 70 高志 2位
 準4位
 女子 18位
 16位 ロック
 七尾5-10 61 岩手立

☆冬季大会リーグ
 決勝
 七尾0-60 金工工業
 ※優勝